



華となれ!

宮城県仙台二華中学校
学校だより 第10号
【発行日】 令和元年10月10日
【連絡先】 022-296-8101
【文責】 副校長 加茂 博行

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

各クラスが優勝目指し奮闘

球技大会開催

9月27日(金)に中学校球技大会が開催されました。8時35分から開会式が行われ、実行委員長のIさんの挨拶や、体育行事委員によるユーモアあふれる選手宣誓など、和やかな雰囲気ですスタートしました。

今年度の開催種目は、クラス対抗のバスケットボール、ドッジボール、きばれえの3種目に加えて、縦割り種目のキンボールリレーです。

本校は、中高一貫校なので、合唱コンクールや文化祭などを中高合同で行っています。中高合同で高校生が行事を運営する姿を見ることができるのは素晴らしいことですが、中学生がリーダーシップをとる行事が少なくなってしまうことが、気にかかっていました。

今回の球技大会は、実施種目、ルール設定、時間設定、当日の運営も中学生の体育行事委員が中心となって執り行いました。開会式から閉会式まで、丸一日滞りなく運営した体育行事委員のリーダーシップは素晴らしいものでした。

携帯電話や音楽、ゲームがなくても、生徒は笑顔いっぱいでも過ごしていました。人と人とのつながりの大切さを感じることでできる1日でした。



開会式で行われたキンボールリレー

球技大会ハイライト

ドッジボール

小学生の頃からなじみのあるドッジボールは、男女とも白熱した試合が展開されました。外野同士でパスを回し、逃げ回る内野を疲れさせた後に、足下めがけてボールを投げるなど、各クラスとも作戦を立てながら競技に取り組んでいました。

どの学年も、男女関係なく自分のクラスを大きな声で応援し、プレーヤーが活躍する度に歓声が上がっていました。



クラスの勝利が決まり手を上げて喜ぶ3年生

きばれえ

きばれえは、キンボールとバレーボールを組み合わせたニュースポーツです。ルールが簡単で、1チームが4人と少人数でも行えるのが特徴です。

きばれえは今年度初めて球技大会に導入されました。導入したきっかけは体育行事委員が、運動が得意な人も苦手な人も、みんなが楽しめる競技を取り入れたいと考えたからです。

競技は委員の願い通り、参加した全員が楽しめるものとなりました。ボールの動きは他競技に比べればゆっくりなのですが、ボールが重いので、打ち返す方向に回り込み、体全身を使ってボールに力を伝えないと、うまく相手コートにボールを返すことができません。思ったよりも運動量が多く、生徒たちは顔を真っ赤にしてプレーしていました。生徒にも教員にも好評で、導入を決めた体育行事委員も満足していました。



全身を使ってボールを打ち返す1年生

バスケットボール

バスケットボールは、前半・後半を各4分とし、各学年とも、スピーディーなゲームが展開されました。経験者と未経験者の差が大きいスポーツなので、バスケットボールの経験者はフィールドゴールが通常2点のところ、1点にするというルールの工夫をすることで、最後まで勝敗の行方が分からない緊迫した試合が多くなりました。

相手ゴール下でリバウンドをとると、すかさず前線に走り込んだ選手にパスを送り、ゴール下のシュートで得点するというシーンが数多くみられました。

特に中学3年の男子の試合は、体も大きく、ディフェンスも激しくて、見応えのある試合となりました。



激しくボールを競り合う2年生

宮城県中学校英語暗唱大会で最優秀賞

9月26日(木)に宮城県英語研究部会等が主催する令和元年度第69回宮城県中学校英語暗唱大会において、本校3年生のIさんが第1位となる最優秀賞を受賞しました。

Iさんは、発音の美しさはもちろんのこと、メッセージを聴衆に効果的に届けるために、声の強弱や声のトーンを巧みに使い分け、「Changing the World」と題した約5分間の発表を見事に成し遂げました。

発表の直後、聴衆は魅了されたかのように一瞬静まりかえり、その後大きな拍手が会場を包んだそうです。

Iさんは11月15日に仙台で行われる東北大会に出場します。



後期始業式で賞状とトロフィーをもらうIさん